



タコ焼きパーティーをしました！

クリスマスソングが聞こえる季節になりました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか？
2018年も残りあと1ヶ月、風邪などをひかないように新しい年を迎えましょう。

10/27(土)は、ぽこ・あ・ぽこがヨガセミナーの為、この日はぼれぼれで過ごしました。最近、中学生の女の子が多くなっています。その女の子たちが、タコ焼きパーティーを計画しました。タコ焼きの中にはタコの他にソーセージ、チーズなどを入れて焼き、みんなで美味しく食べました。次は、ぽこ・あ・ぽこで何か作りたいと話していますので、みなさん、遊びに来てね🍴

ふきのとうの情報は、ホームページにも掲載しています。こちらでも情報をチェックしてくださいね！

Facebookは随時、更新中です！「いいね！」を押してね！「シェア」もお願いします。

Facebookをやっていない人は、ふきのとうのホームページのブログにも書いています。たまにはブログものぞいて見てね！



ひきこもり者の中間就労支援「発送作業」

但し、条件があります。この事業はJTたばこの助成事業で行うため、賃金などの規定がありますので、ご了承ください。

毎月、発行される「事務局だより」「居場所だより」と年4回発行される会報「星の風」の発送作業のアルバイトです。

仕事内容は、封筒のラベル貼り、紙折り、封筒に封をする、郵便切手を貼る簡単なお仕事です。初めての方は、事務局が教えます。

アルバイト代:1時間750円です。但し勤務時間は2時間とします。

アルバイト代支給日は、12/21(金)の分は、年明けて1/11(金)です。

対象者:手帳を持っていない人及び長期アルバイトなどしていない人に限ります。

まだ、星の風で働きたいけど、少しハードルが高いなぁと思う人、居場所に行きたいけど、まだ、行けないという人

中学生以上(労働基準法に則り)

以上の方たちが対象となります。

次回の発送作業日12/21(金)です。



あなたの絵をポストカードにしてみませんか？

フリースペースふきのとうでは、ポストカードにする絵を募集しています。

今まで描き溜めた絵やこれから描く絵、写真もOKです。

出来たポストカードは星の風で販売することも出来ます。売り上げの80%は作者にお返しします
詳しくは、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。

尚、ハガキの台紙はふきのとうで準備しています。

他にも手作り雑貨やアクセサリなど販売したい方も商品と共に募集しています。

是非、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。お待ちしております。



ぽこ・あ・ぽこ (学童期)

火・土(祝日、年末年始、お盆お休み) 13:00~17:00

月	火	水	木	金	土	日
					1 英会話 15:30~17:00	2
3	4 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	5	6	7	8 英会話 15:30~17:00	9
10	11 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	12	13	14	15 英会話 15:30~17:00	16
17	18 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	19	20	21	22 クリスマス会 大掃除	23 天皇誕生日
24 年末年始 お休み	25 年末年始 お休み	26 年末年始 お休み	27 年末年始 お休み	28 年末年始 お休み	29 年末年始 お休み	30 年末年始 お休み
31 年末年始 お休み						

- ◆開所日は、火・土曜日13:00~17:00までですが、祝日、年末年始、お盆はお休みです。また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。
- ◆学習サポート「数学」 担当:永富光朗先生 数学パズルなどを利用して、遊びながら学べます。
- ◆英会話 担当:池田和博先生(ぽこ・あ・ぽこの家主さん)
持ってくるもの:NHKテキストブック「英語I」(書店で買って持って来てね!)、筆記用具
学習内容:NHKテキストブック「英語I」を教材にして学習します。また、簡単な英会話やみんながなじみのある英語の歌などを楽しく学びます。時々、外国の方が来
- ◆毎週土曜日は英会話が終わった後、ギター教室もしています。担当:池田和博先生
※英会話とギター教室は毎週土曜日にしてはいますが、講師の池田さんの都合でお休みする場合があります。
- ◆12/22(土)は、クリスマスケーキ作りを10時から12時まで、クリスマス会を13時~15時まで行います。
その日、終了後、今年最後の居場所ですので、クリスマス会の後片付けと同時に、大掃除をしますので、エプロンやマスクなどを持って来てください。
- ◆12/25(火)と12/29(土)は年末年始で居場所はお休みします。

ぽれぽれ(青年期)

月・火・金・土(祝日、年末年始、お盆お休み) 10:00~16:00
木 8:00~14:00

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 事務局代休	4 学習サポート 「英語」	5	6 みんなの丸江 星の風	7	8 学習サポート 「発達障がい」	9
10	11 学習サポート 「英語」	12	13 みんなの丸江 星の風	14	15 工房ワーク ショップ 学習サポート 「発達障がい」	16 農業体験 玉ねぎの植え付け (黒島町) 11:00~15:00
17 事務局代休	18 学習サポート 「英語」	19	20 みんなの丸江 星の風	21 みんなの丸江 星の風	22 クリスマス会 学習サポート 「発達障がい」	23 天皇誕生日
24 年末年始 お休み	25 年末年始 お休み	26 年末年始 お休み	27 年末年始 お休み	28 年末年始 お休み	29 年末年始 お休み	30 年末年始 お休み
31 年末年始 お休み						

- ◆学習サポート「英語」 担当:田向弘文先生
- ◆学習サポート「発達障がい」・小学生 担当:川久保伊千子先生
- ◆開所日は、月・火・金・土曜日の10時~16時と木曜日の8時~14時までですが、急な用事や出張などで出かけることがあります。ご用の時は事前にご連絡ください。
また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。
上記の他に、フリースペースふきのとう主催の行事の翌日の場合も居場所兼事務所はお休みします。
- ◆12/3(月)は、12/2(日)に行われる全国のつどいin長崎の事務局会議の為、居場所兼事務所はお休みします。
- ◆12/17(月)は、12/16(日)の農業体験の翌日の為、居場所兼事務所はお休みします。
- ◆12/22(土)は、学童期合同のクリスマス会で「ぼこ・あ・ぼこ」で行いますので、お休みです。
居場所へ行きたい人は、どうぞ、クリスマス会へ来てくださいね!
- ◆12/24(月)から「ぽれぽれ」と事務所は年末年始でお休みです。

年賀状



《年賀状の歴史は？》

●年賀状の始まりとルーツ

年賀状の歴史の始まりは古く、平安時代にまでさかのぼり現存する日本最古の年賀状と言われる書面は研究者である藤原明衡が作ったとされています。併せて平安時代の頃からは、年始に日頃お世話になった人や親戚の家をまわって挨拶をする「年始回り」の風習も広がっていきました。そして、江戸時代へと変わると人付き合いの範囲が広くなり、書面で挨拶をすることも増えていくとともに、新年を祝う書面を届ける伝達人が活躍しました。この頃、玄閼に「名刺受け」を取り付け、留守にしている時にはお祝いのメッセージを書いた名刺を入れてもらうシンプルな方法も始まりました。また、現在でも仕事などの年始の挨拶回りでは「謹賀新年」など賀詞が入った名刺を使うこともあり、**年始回りを略式化したものが年賀状の起源だ**とされています。

●年賀状文化の習慣化

年賀状文化の習慣化は、1900年(明治33年)に私製はがきの取り扱いが開始されたことにより、一気に年賀状文化が日本中に広まるキッカケとなりました。もともとは、1873年(明治6年)に官製はがきが発行されてから、松竹梅や鶴などをデザインしたものを主流に、少しずつ年賀状の風習は広がっていました。また、**戦後の昭和24年からお年玉付き年賀はがきの発行がされたことで、年賀状の文化は定着**されてきました。2000年に入りIT(情報技術)が盛んになっている現在では、インターネットの普及によりメールやSNSなどで、かわいいイラストでメッセージが送れるようになって、年賀状の形も変化しています。現代では年賀状離れが顕著になっていますが、年賀状は「形に残る礼儀」として考えている人もたくさんいますので、形で残す年賀状の文化を大切にしたいですね。

《年賀状を送る意味とは？》

年賀状を送る意味は、**もともとは年賀の挨拶に行くには遠くて行けない人に挨拶するため**です。また、現代の年賀状には挨拶以外にも近況報告などをする人も多くなってきています。

●近況報告や現住所の連絡

年賀状を出す際に、**自分自身の近況報告や今住んでいる住所などを併せて書いて相手へ伝えます**。年賀状の良いところは、日常ではなかなか連絡を取らない相手へ年に一度の年賀状を送ることで、自分の状況や連絡先などを知らされます。また、相手の反応によっては、来年は年賀状を出さなくても良い相手なのかの一つの目安になります。

●お世話になったことへの御礼

年賀状を出す際は、**昨年は色々とお世話になったことに対してのお礼として相手へ伝えます**。社会人になると必然的に礼儀として年賀状を書く人も多いのではないのでしょうか。また、メールなどに慣れていない年配者には、とくに年賀状の方が良いでしょう。

《お年玉つき年賀はがきの誕生秘話とは？》

お年玉つき年賀はがきの誕生は、**1949年(昭和24年)12月から発行**されました。このお年玉くじ付き年賀はがきから、年賀専用の官製はがきが誕生し、それまでは通常の官製はがきを年賀状として使用していただけでした。実は、お年玉つき年賀はがきが誕生したキッカケは、内部からの提案があったわけではなく、民間人である林正治氏(当時42歳)が考案しました。林氏は年賀状に商品が当たるくじをつけ、年賀はがきの料金には寄付金をつけ社会福祉に役立てたいというアイデアを、宣伝用ポスターなどを作り郵政省へ持ち込みます。もちろん、郵政省では賛否両論はありましたが無事に採用が決まり、お年玉つき年賀はがきは現在までに至り正月の恒例となっています。

●お年玉つき年賀はがきの賞品

第1回のお年玉つき年賀はがきの賞品は、以下のような品物でした。

特等:ミシン、1等:純毛衣服地、2等:児童用グローブ、3等:児童用こうもり傘

当時の庶民たちは、既製品の服を買うのが難しかったのが、家で衣服を作るのが夢の一つでした。1966年以降は特等が廃止となり、1等が最高賞へと変わり、毎年の最高賞品も電気洗濯機、フォームラバーマットレス、ポータブルテレビや8ミリビデオカメラ、電子レンジ、ビデオテープレコーダーなど時代を感じさせられます。平成へ時代は変わってからは最新のテレビやパソコン、海外旅行などの数点の中から1点を選ぶ形式となり、2014年から1等が賞金に変わっているのは、現代社会を反映していますね🍀

